

小松 守 先生（大森山動物園 名誉園長、獣医師）

■プロフィール

1952年 秋田市生まれ
1975年 帯広畜産大学獣医学科卒
同年に秋田市役所・動物園配属
1998年～ 動物園長～2025年4月末退職
2025年5月 名誉園長



■業務外

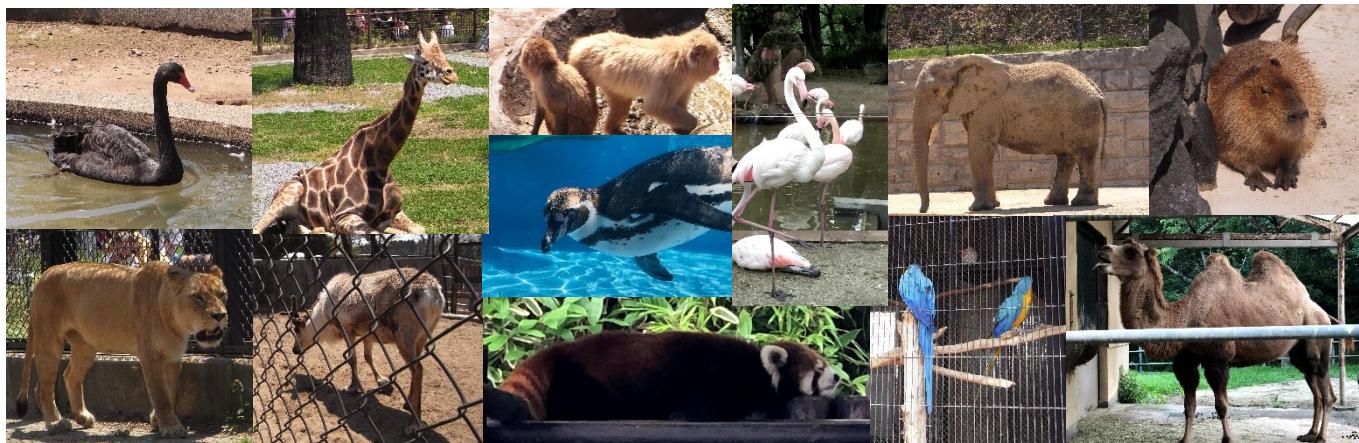
2001～2012年 日本動物園水族館協会理事、種保存委員会事務局長
2005年～ 環境省 希少種※保護増殖検討委員
(※ イヌワシ ツシマヤマネコの2種)
2014年～ 岩手大学招へい講師 「動物園学」講義
2016年～ 秋田県立大学非常勤特任講師 「生態学概論」(部分講義)
2020年～ 秋田県環境影響評価審査会委員 他

■著書等

新聞雑誌投稿 秋田魁新報社月曜論壇 2013年から60回
河北新報社 座標軸 2013年から5回
秋田経済研究所「あきた経済」コラム欄担当 2008年から継続

著書出版

「義足のキリン・たいようの一生」監修 朝日新聞 2003年
「動物園学入門(共著)」 朝倉書店 2014年
「時には動物から」 秋田協同印刷所 2023年など



*今回講演会「動物から『いのち』を学ぶ」について

75年前、千秋公園内に秋田県児童会館付属動物園がありました。それを前身とする大森山動物園。令和7年で53年目を迎えました。そのほとんどを知る 小松 守 名誉園長。知らず知らずのうちに動物や自然への関心を高めてもらう「楽しく学べる体験型動物園」としての工夫や、動物園の役割について分かりやすく話していただけることだと思います。自然、動物、人との総和としての動物園は憩いの場であるとともに『いのち』を学ぶ場でもあります。名誉園長の動物に対する想いを是非お聞きください。



ガラス作品「イヌワシの鳥海よ、永遠に！」
秋田公立美術大学 小牟禮尊人教授制作
前で案内（2019年6月26日）